

# ついでに レポート No. 384



日本共産党中央区議会議員 **おぐり智恵子** の

議員活動報告

事務所: 中央区日本橋人形町1-10-8  
自宅: Tel/Fax 3249-1762

発行・日本共産党中央区議会議員団 Tel 3546-5563  
HPアドレス <http://www.jcpchuo-kugidan.jp/>

介護保険 来年4月から

## 要支援者のサービス「移行」

今年の4月から、介護保険の制度「改悪」が行われ、▼特養ホームの申し込みが要介護3以上に制限される、▼利用者負担を所得によって「2割負担」に、▼低所得の施設利用者の「食事・部屋代補助の削減」がすでに実施されています。

さらに、▼要支援1・2の認定者への「訪問介護」「通所介護(デイサービス)」を「予防給付」の枠から外し、区が実施する生活支援サービス(総合事業)に移行することが決まっています。

12月14日の福祉保健委員会で、

中央区の要支援者のサービス移行を来年の4月から実施することが報告されました。

区で実施する訪問介護について、専門的な身体介護を含むサービスは引き続き介護職が行いますが、新たに、「緩和型」の掃除などの生活支援サービスは、介護事業者でない事業者でも入できるようにし、シルバー人材センターにも委託するとしています。

私は、要支援者の訪問介護サービスの、「緩和型」のサービスに強制

的に「移行」させるのではなく、必要な人が現行どおりの生活援助・通所介護を受けられるようにすることを求めました。また、介護職の人材不足が深刻になる中、公費投入で介護保険制度をしっかりと支えることが必要だと強調しました。

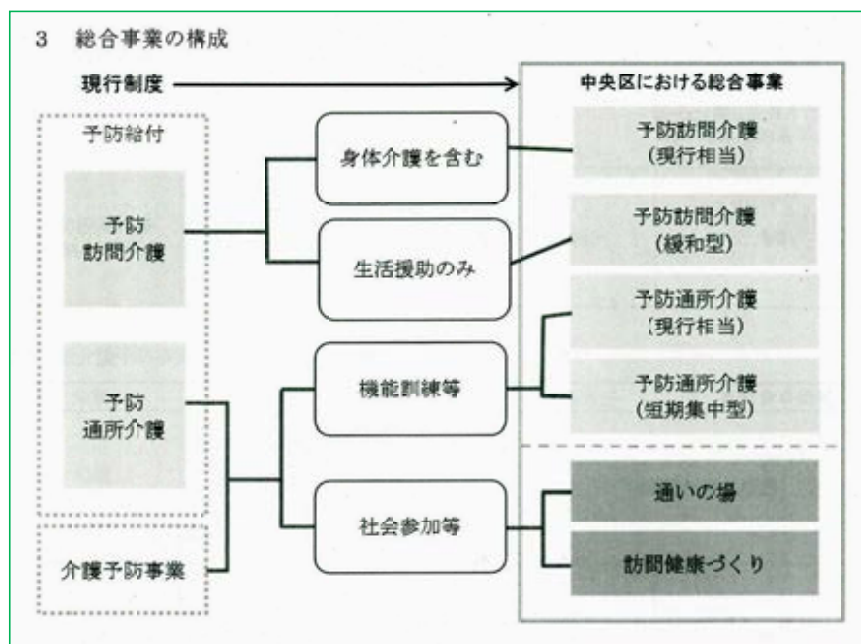
対象となる要支援者への案内は来年2月から、認定更新の際に行われる予定です。



街頭で「戦争法廃止の2000万人署名」を呼びかけるおぐり智恵子=12/15 茅場町駅前



要支援者むけ「総合事業」  
(福祉保健委員会資料より)



# 戦争法を廃止して立憲主義を取り戻そう



「戦争反対」「憲法守れ」の「1206銀座大行進」=12/6銀座(しんぶん赤旗12/7より)

11月20日から30日まで、区議会第四回定例会が行われ、11月24日に、日本共産党区議団を代表して、加藤ひろし議員が一般質問を行いました。

.....

安倍自公政権が9月19日、安保法制＝戦争法を強行採決しましたが、憲法9条を蹂躪し、日本を「海外で戦争する国」につくりかえる戦争法に対する国民の怒りと抗議の声は、静まるどころか、廃止に向けた行動が全国津々浦々で展開されています。「戦争させない、9条壊すな、総がかり行動実行委員会」が呼びかけた「戦争法の廃止

を求める統一署名・2000万人署名」の取り組みも開始されています。また、日本共産党の志位和夫委員長が発表した「戦争法廃止の国民連合政府」提案をめぐって、幅広い団体や個人との懇談が急速に進められ、国民的共感や新たな期待と注目を集めています。

一方、安倍政権は、戦争法成立後、南スーダンの国連平和維持P K O活動に参加している自衛隊の「駆け付け警護」などの任務拡大の準備や、南シナ海への海上自衛艦の派遣の動き、さ

## 質問項目

1. 「安保法制(戦争法)」について
2. 安倍首相がすすめる「アベノミクス」について
3. 医療と介護の制度について
4. 「子どもの貧困」対策について
5. 認可保育所待機児解消に向けた取り組みについて
6. 高齢者にとっても安心・安全なまちづくりについて
7. 地域の防災リーダーの育成と防災備蓄倉庫設置場所の見直しについて

らに「平時」から自衛隊をアメリカ軍の指揮下に組み込む日米の「軍軍調整所」の運用など、戦争法の具体化を加速させています。

加藤議員は、こうした情勢と戦争法の危険性を述べ、戦争法は「憲法に従って政治を行う立憲主義、民主主義、法の支配という国の土台を根底からくつがえすものだ」と考えるがどうかと区長に質問しました。

区長は「憲法との整合性が保たれている」という政府の強弁を追認する答弁でした。

加藤議員は、「議事録が残せないほどの混乱の中で強行されたものではないか」と批判。

「日本共産党は、国民のみならずと力を合わせて立憲主義を貫く新しい政治をつくるために全力を上げる」ことを表明しました。

.....  
質問の全文は、共産党区議団HPに掲載中。一般質問の録音は中央区議会HPで聞くことができます。

## 国保料引き下げを申し入れ



12月14日、日本共産党の都委員会・都議団・各区議団合同で、特別区長会に「来年度の特

別区国民健康保険料の引き下げをやめ、引き下げを求める申し入れ」を行いました。共産党都委員会から山添拓弁護士(写真中央)が参加。中央区議団から、奥村あきこ区議と私が参加しました。

毎年値上げされる国民健康保険料(国保料)は、「高すぎて払えない」と悲鳴が上がりに、23区でも滞納世帯は3割近くに及んでいます。

しかし、現在、国保料を来年度も引き上げる方向で検討が進められており、来年1月の区長会総会で決定するということから、共産党として緊急の申し入れをおこなったものです。

山添拓氏は、保険料が払えず、医療も受けられない実態を改善するため、保険料の引き下げを強く求めました。